

友の会事業活動から

世田谷美術館友の会会員の皆様へ

友の会代表世話人 鬼塚満壽彦

暦の上では、夏至から小暑へ。夏の風が熱気を運んでくる頃、暑中見舞いを申し上げる季節になって参りました。緊急事態宣言が解除されました。が、会員の皆様におかれましては、まだまだ夫々に創意工夫の日々をお過ごしのことと拝察致します。

世田谷美術館は開館へ、令和2年度世田谷美術館友の会総会(書面表決による)も皆様の温かなご協力により成立しました。会員の皆様の変わらぬご協力・ご支援に心から感謝申し上げます。

「この会は、美術文化に関心をもつ人々の自主的な集まりであり、相互に学び、創造し、交流するとともに世田谷美術館の活動を支援することにより、地域文化の向上に寄与することを目的とする。」(友の会規約第3条)

新型コロナウイルスの時代、新しい生活様式が求められています。感染症防止対策とともに心豊かで楽しい日常生活の構築に、友の会の存在意義は大きいと考えます。会員の皆様と共に多様な方法を工夫し、会の目的にそって活動を推進し続けてまいりたいと存じます。

世田谷美術館友の会会員の皆様、引き続き友の会の充実・発展のため、ご尽力を賜りますようよろしくお願い致します。

令和2年度総会書面表決結果

今年度の総会は残念ながら書面表決となりましたが以下のとおり会員の皆様方のご支持をいただきました。ご協力ありがとうございました(会員総数587名、回答数262、委任数325)。

第1号議案 令和元年度事業報告	賛成256	反対0	棄権6
第2号議案 令和元年度決算報告	賛成255	反対0	棄権7
第3号議案 令和元年度監査報告	賛成255	反対0	棄権7
第4号議案 令和2年度事業計画(案)	賛成252	反対1	棄権9
第5号議案 令和2年度予算(案)	賛成253	反対0	棄権9

(友の会総務部)

美術館・友の会共催 解説・鑑賞会

◎「村井正誠 あそびのアトリエ」展

解説：三木敬介学芸員 2月22日(土) 参加者55名

近代日本を代表する抽象芸術家は《太陽の塔》の岡本太郎しか頭に浮かばない浅学のわたしにとり、当日は抽象美術を追究した同時代の芸術家を知る上で貴重な機会となった。

レクチャーは、村井の人となり、展覧会の見どころ、抽象画の楽しみ方や作風の変遷について概ね90分だったが、もっともところを動かされたのは、アトリエに数多く残され没後に館へ寄贈されたオブジェや蒐集した民芸品(古民具)とそれにまつわるエピソードである。村井は、「昔の埴輪のような心と形と色と大きさを持ちたい」(1993年『日本の抽象-村井正誠展』図録より)や、「人間が活動していることが絵にとって大事でそのような世界を表現しないと絵には意味がない」と述べ、「これらから感じられる素朴に人間が手で作ったものと同じような雰囲気や作品に反映させたい」と意識した結果が、柔らかくおらかなで「人の気配」を感じさせる作品となった。そして、村井が93歳で亡くなる前年作の《黒い人》まで、抽象画の楽しさを満喫できる作品を生み出したことに、密かな驚きを憶えた企画展であった。さらに村井の活動が、小学校から大学に及ぶ教育にも尽力したことも附記しておく。

(友の会広報部)



油彩講座

講師：早矢仕素子

1月17日(金)～2月21日(金)全8回のうち6回 参加者35名

上木敬三

「なぜ油絵を描くの?」「ウーん、好きだから」「油絵描くと何か良い事あるの?」「……。」油彩講座に行くと言った時の妻と私の会話。良い事は絶対有ると自分に言い聞かせつつ、息子のお下がりのお絵具セットを携え、イザ!!世田谷美術館へ。人生初の油絵チャレンジ、油彩講座がスタートしました。

初日は先生より筆や絵具やキャンバス等の基礎の基礎のレクチャーを受ける。「油絵は何度も書き直しができるので自由に描いて!!」と神のような言葉に背を押され、先生より構図のアドバイスを受け、静物画に挑戦。描き進めると先生が「ここに花瓶を描きましょう」と本来無い場所を指定する。自分の硬い頭がほぐされて行く感覚を得ました。

後半はいよいよ人物画が始まります。今回も先生から人物画デッサンのレクチャーを受ける。具体的な描き方ノウハウを伝授され、人物画に初挑



こんなモチーフ描いています。

戦!ところが肌色の作り方が分からない。クレパスには有ったのに。ここでも先生のアドバイスを心得、壁に当たりながら一歩一歩油絵の世界に進んでいます。

油絵を描くと……「人生楽しい!!」

お知らせ

油彩講座は全8回のうち6回まで終了し後2回を残して中断しておりますが、再開のめどが立ち次第受講生の皆様にご連絡いたします。今しばらくお待ちください。

(友の会事業部)

美術館人事異動

4月1日付けで山田実氏が新たに総務部長に就任されました。

よろしく申し上げます。



山田実総務部長

今年度の事業について

友の会では今年度も会員交流会、会員作品展、秋の美術館めぐり、各種実技講座、美術講座、アート散歩、解説・鑑賞会等の事業を予定しております。各事業につきましては実施の詳細が決まり次第、会員の皆様方にチラシや友の会ホームページ等でお知らせいたします。(友の会世話人会)

「編集後記」

コロナ禍の下、今号は通常の3ページが1ページになってしまいました。早く従来の形に戻れることを願っています。(友の会広報部)

世田谷美術館友の会に入会しませんか!

会員は世田谷美術館と分館の展覧会が年間無料で観覧でき、会員限定のイベントや実技講座への参加、友の会作品展への出品ができます。



お問い合わせは友の会事務局へ
詳細は入会案内やホームページをご覧ください。

Tel.03-3416-0607
<https://setabi-tomonokai.jp/>